

感染症内科

上平朝子

当院は平成9年4月にエイズ治療の近畿地方ブロック拠点病院に選定され、診療、研究、情報発信、教育研修の4つの機能を求められている。当院のHIV患者数は、1年間で240名以上の新規患者が受診し、平成23年2月末現在、当院のHIV感染症累計患者数は約1900名を超えている。入院の累積患者数も2000名以上となり、外来・入院ともに診療患者数は年々増加している。当科では、HIV感染症に関する多様なニーズに対して、医師、看護師、薬剤師、カウンセラー、情報担当官、ソーシャルワーカーらでチーム医療を実践している。現在の診療内容は、HIV感染症が全体の9割近くを占めており、その他は免疫疾患、一般感染症（一類、二類を除く）などである。

「主な診療、研究」

日和見感染症に対する治療や予防の進歩と抗HIV療法の確立によってエイズによる死亡者数は減少した。当科では、多彩な日和見感染症や日和見腫瘍の診療を行っている。また、新しい抗HIV薬も次々と承認され、現在は一日一回療法も可能となるなど、最新の治療を提供している。しかし、長期間にわたり正確な内服を継続しなければならない抗HIV療法の身体的、精神的負担、難治性病態への対応など課題もあり、調査や臨床研究、症例検討会なども行っている。抗HIV薬の治療効果や副作用の調査及び検討、HIV関連の悪性腫瘍（主に悪性リンパ腫やカポジ肉腫）や神経疾患、免疫再構築症候群、急性HIV感染症などの難治性病態についての臨床研究や症例検討、ウイルス肝炎（HCV、HBV）とHIVとの重複感染についての症例研究などを行い、多施設との共同研究にも参加し、日本エイズ学会を始めとした多くの学会で発表している。

「情報発信、教育研修」

HIV感染症は、病原体も感染経路も予防方法も明らかであるにも関わらず蔓延している。特に日本では、30~40歳代の若者を中心に患者数が増加しており、しかも未だに偏見差別の対象である。拡大する性感染症としてのHIV感染症を予防するために、病気についての正しい知識を幅広く提供している。現在、ブロック拠点病院である当院にHIV感染症患者が集中していることから、中核拠点病院を始めとした各拠点病院との連携をさらに強化し、HIV診療のレベルの向上や人材育成を図るために、専門医師養成実地研修、各種専門職研修、一般研修など多数の研修を実施している。さらに、HIV患者の長期療養や一般医療の必要性も高まっており、拠点病院だけでなく、地域の医療機関や訪問看護との連携も積極的に行っている。また、診療のコンサルテーション、HIVの針刺し後の対応、生活療養支援などを含む、さまざまな相談をすみやかに対応できるようなシステムの構築をめざし、各種マニュアルや冊子を作成し配布している他、ホームページを随時更新し、最新の情報発信を行っている。

【2010年度研究発表業績】

A-0

Shirasaka T, Tadokoro T, Yamamoto Y, Fukutake K, Kato Y, Odawara T, Nakamura T, Ajisawa A, Negishi M. Investigation of emtricitabine-associated skin pigmentation and safety in HIV-1- infected Japanese patients. Mar3,2011(online), J.Infection and Chemotherapy

Hirokazu Nagai, Takashi Odawara, Atsushi Ajisawa, Shotaro Hagiwara, Tomoyuki Watanabe, Tomoko Uehira, Hideki Uchiumi, Mihoko Yotsumoto, Toshikazu Miyakawa, Akira Watanabe, Toshiyuki Kambe, Mitsuru Konishi, Seiji Saito, Soichiro Takahama, Masao Tateyama, Seiji Okada. Whole brain radiation alone produces favourable outcomes for AIDS-related primary central nervous systems lymphoma in the HAART era. European Journal of Haematology 2010;84:499-505

Taniguchi T, Ogawa Y, Kasai D, Watanabe D, Yoshikawa K, Bando H, Yajima K, Tominari S, Shiiki S, Nishida Y, Uehira T and Shirasaka T. Three cases of fungemia in HIV-infected patients diagnosed through the use of mycobacterial blood culture bottles. Intern Med 2010;49(19):2179-2183

Watanabe D, Uehira T, Yonemoto H, Bando H, Ogawa Y, Yajima K, Taniguchi T, Kasai D, Nishida Y and Shirasaka T. Sustained High Levels of Serum Interferon-g During HIV-1 Infection: A Specific Trend Different from Other Cytokines. Viral immunology 2010;23(6):619-625

Watanabe D, Taniguchi T, Otani N, Tominari S, Nishida Y, Uehira T, Shirasaka T. Immune reconstitution to parvovirus B19 and resolution of anemia in a patient treated with highly active antiretroviral therapy: A case report. J Infect Chemother. in press.

Hattori J, Shiino T, Gatanaga H, Yoshida S, Watanabe D, Minami R, Sadamasu K, Kondo M, Mori H, Ueda M, Tateyama M, Ueda A, Kato S, Ito T, Oie M, Takata N, Hayashida T, Nagashima M, Matsuda M, Ibe S, Ota Y, Sasaki S, Ishigatsumo Y, Tanabe Y, Koga I, Kojima Y, Yamamoto M, Fujita J, Yokomaku Y, Koike T, Shirasaka T, Oka S, Sugiura W. Trends in transmitted drug-resistant HIV-1 and demographic characteristics of newly diagnosed patients: Nationwide surveillance from 2003 to 2008 in Japan. Antiviral Res 2010;88(1):72-9

A-1

谷口智宏：「感染症ケースファイル ここまで活かせる グラム染色・血液培養」喜舎場朝和・遠藤和郎、1-259、医学書院、東京、2011年3月

A-3

富成伸次郎、葛下典由、坂東裕基、外山隆、上平朝子、三田英治：肺炎球菌による脾摘後重症感染症（OPSI）の1例「臨床消化器内科」25(5):P.617-622、2010年5月

由雄敏之、葛下典由、小川吉彦、笠井大介、上平朝子、三田英治：後天性免疫不全症候群に関連した特発性食道潰瘍の2例「臨床消化器内科」25(10):P.1409-1414、2010年9月

小川吉彦、渡邊大、佐子肇、坂東裕基、矢嶋敬史郎、谷口智宏、富成伸次郎、笠井大介、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：旅行者感染症として播種性ペニシリウム症を発症し治療が奏効した邦人 HIV 感染者の1症例「感染症学雑誌」84(6):P.740-743、2010年11月

白阪琢磨 : IAS-USA ガイドライン Up-Date 「HIV 感染症と AIDS の診療」 1(2):P.20-24、2010 年 11 月

上平朝子 : HIV 感染症患者の肝機能障害 「HIV 感染症と AIDS の診療」 1(2):P.36-44 1、2010 年 11 月

葛下典由、上平朝子、中水流正一、外山隆、由雄敏之、三田英治 : HIV 感染経路観察中、B 型急性肝炎を起こし慢性化した 1 例 「臨床消化器内科」 26(1):P.117-120、2011 年 1 月

笠井大介、小谷義一、奥野恵子、小林和幸、船田泰弘、西村善博、大林千穂:G-CFS 産生腫瘍と考えられた肺肉腫様癌 3 例の検討 「肺癌」 50(7):P.894-900、2010 年

A-4

白阪琢磨 : HIV 感染者/AIDS 患者に対する医療システムの現状と今後の課題 「公衆衛生」 74(11):P918-922、2010 年 11 月

B-2

DAISUKE KASAI, TAKUMA SHIRASAKA, YOSHIHIKO OGAWA, HIROKI BANDO, KEISHIRO YAJIMA, TOMOHIRO TANIGUCHI, DAI WATANABE, YASUHARU NISHIDA, TOMOKO UEHIRA. ANALYSIS OF THE FATAL CASES DUE TO PNEUMOCYSTIS PNEUMONIA IN HIV-INFECTED PATIENTS. 15th Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology, Philippines, 2010 年 11 月

B-3

白阪琢磨 : 医療体制、長期療養問題などについて。第 84 回日本感染症学会総会、京都、2010 年 4 月

笠井大介、小川吉彦、坂東裕基、矢嶋敬史郎、谷口智宏、富成伸次郎、渡邊大、西田恭治、上平朝子、矢倉裕輝、吉野宗宏、白阪琢磨 : HIV 治療薬と抗てんかん薬の相互作用に関する検討。第 58 回日本化学療法学会総会、長崎、2010 年 6 月

渡邊大、米本仁史、坂東裕基、小川吉彦、矢嶋敬史郎、谷口智宏、笠井大介、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨 : 血漿 HIV-RNA 量が測定感度未満に到達するまで長期の日数を必要とした初回抗 HIV 療法導入例の解析。第 24 回近畿エイズ研究会学術集会、大阪、2010 年 6 月

白阪琢磨、瀧永博之、横幕能行 : HIV 感染症・AIDS の初回治療 : 何を選択するか?。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

服部純子、椎野禎一郎、瀧永博之、林田庸総、吉田繁、千葉仁志、小池隆夫、佐々木悟、伊藤俊広、内田和江、原孝、佐藤武幸、上田敦久、石ヶ坪良明、近藤真規子、今井光信、長島真美、貞升健志、

古賀一郎、太田康男、山元泰之、福武勝幸、加藤真吾、藤井毅、岩本愛吉、西澤雅子、仲宗根正、岡慎一、伊部史朗、横幕能行、上田幹夫、大家正義、田邊嘉也、渡辺香奈子、渡邊大、白阪琢磨、小島洋子、森治代、中桐逸博、高田昇、木村昭郎、南留美、山本政弘、松下修三、藤田次郎、健山正男、杉浦互：2003～2009年の新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性頻度の動向。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

矢嶋敬史郎：われわれはどのような専修医を育成すべきか～専修医修了者の立場から～。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

矢嶋敬史郎：HIV/AIDS と長期療養～臨床医の立場から～。第 64 回国立病院総合医学会、福岡、2010 年 11 月

山元泰之、青木眞、Ann Khalsa、西田恭治、村松崇、山中晃、横幕能行：症例から学ぶ HIV 感染症診療のコツ。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

上平朝子：HIV の周辺領域の医療課題～医療現場からの報告。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

B-4

泉抽岐、井端美奈子、白阪琢磨、古山美穂：高校生対象の DVD 教材「本気で CONDOMING～HIV/エイズの予防と最新治療～」の開発。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

日笠聡、栗原健、小島賢一、白阪琢磨：抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査—治療開始時の抗 HIV 薬処方動向調査(2010 年)—。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

小島賢一、栗原健、日笠聡、白阪琢磨：抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査—抗 HIV 薬の薬剤変更状況調査(2010 年)—。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

栗原健、畝井浩子、佐藤真希、高橋昌明、吉野宗宏、白阪琢磨：抗 HIV 薬の服薬に関するアンケート調査結果。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

大北全俊、渡邊大、白阪琢磨：急性感染者の早期発見の促進に関する倫理的な課題について。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

大谷ありさ、仲倉高広、藤本恵里、森田眞子、安尾利彦、倉谷昂志、宮本哲雄、垣端美帆、下司有加、治川知子、東政美、白阪琢磨、廣常秀人：初診時から 1 年後の HIV 感染症患者のメンタルヘルス。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

安尾利彦、仲倉高広、倉谷昂志、大谷ありさ、森田眞子、藤本恵里、宮本哲雄、吉田哲彦、疇地道

代、廣常秀人、白阪琢磨：全国の精神科診療施設における HIV 感染症患者の診療状況に関する研究 58。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

平島園子、白阪琢磨、小西加保留、岡本学：訪問看護導入時における制度利用について。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

栗原健、日笠聡、小島賢一、白阪琢磨：拠点病院における抗 HIV 療法と薬剤関連アンケート調査結果(第 7 報)。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

渡邊大、上平朝子、白阪琢磨、横幕能行、濱口元洋、南留美：急性 HIV 感染症の入院 37 症例の検討。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

倉谷昂志、上平朝子：ある心理面接過程から捉えた HIV 感染症患者が感じる孤立感について。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

藤本恵里、大谷ありさ、仲倉高広、森田眞子、安尾利彦、倉谷昂志、宮本哲雄、垣端美帆、下司有加、治川知子、東政美、白阪琢磨、廣常秀人：HIV 感染症患者における初診時から 1 年後の心理状態と生活に関する研究。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

宮本哲雄、仲倉高広、安尾利彦、森田眞子、大谷ありさ、藤本恵里、倉谷昂志、白阪琢磨：HIV 脳症の認知/運動機能障害の査定に関する研究。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

藤原良次、橋本謙、早坂典生、荒木順子、坂本裕敬、山懸真矢、間島孝子、白阪琢磨：ケースマネージメントスキルを使った行動変容支援サービスに関する研究。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

白阪琢磨、日笠聡、岡慎一、川戸美由紀、橋本修二、吉崎和幸、福武勝幸：血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第 1 報 CD4 値、HIV-RNA 量と治療の現状と推移。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

川戸美由紀、橋本修二、岡慎一、吉崎和幸、福武勝幸、日笠聡、白阪琢磨：血液製剤による HIV 感染者の成績調査 第 2 報 抗 HIV 薬の組み合わせの変更と CD4 値、HIV-RNA 量の関連性。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

下司有加、治川知子、垣端美帆、東政美、上平朝子、古西満、高折晃史、日笠聡、白阪琢磨：外来診療における HIV 専従看護師の必要性。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

坂東裕基、笠井大介、米本仁史、小川吉彦、矢嶋敬史郎、谷口智宏、渡邊大、西田恭治、上平朝子、

白阪琢磨、児玉良典、眞能正幸：脳生検で診断されたトキソプラズマ症の一例。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

矢倉裕輝、櫛田宏幸、吉野宗宏、米本仁史、小川吉彦、坂東裕基、矢嶋敬史郎、笠井大介、谷口智宏、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨、栗原健：Darunavir の 1 日 1 回投与方法におけるトラフ濃度と副作用に関する検討。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

渡邊大、伊部史朗、近藤恭子、上平朝子、南留美、笹川淳、矢嶋敬史郎、米本仁史、坂東裕基、小川吉彦、谷口智宏、笠井大介、西田恭治、山本政弘、金田次弘、白阪琢磨：残存プロウィルス量測定の臨床的意義について。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

吉野宗宏、矢倉裕輝、櫛田宏幸、米本仁史、小川吉彦、坂東裕基、矢嶋敬史郎、笠井大介、谷口智宏、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：当院におけるラルテグラビルの使用成績。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

上平朝子、下司有加、矢嶋敬史郎、笠井大介、井内亜紀子、谷口智宏、小川吉彦、坂東裕基、米本仁史、渡邊大、西田恭治、白阪琢磨：HIV 感染者の一般医療に関する診療体制の構築。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

白阪琢磨、富成伸次郎、小川吉彦、渡邊大、矢嶋敬史郎、米本仁史、坂東裕基、谷口智宏、笠井大介、西田恭治、上平朝子：Integrase 領域の変異の出現を認めた Raltegravir による治療失敗の 2 例。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

矢嶋敬史郎、米本仁史、小川吉彦、坂東裕基、谷口智宏、笠井大介、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：HIV 感染症に合併した中枢神経 CMV 感染症の 3 例。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

吉野宗宏、矢倉裕輝、櫛田宏幸、栗原健、米本仁史、小川吉彦、坂東裕基、矢嶋敬史郎、笠井大介、谷口智宏、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：Tenofovir 中止後の腎機能の回復に関する検討。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

谷口智宏、米本仁史、小川吉彦、坂東裕基、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：HIV 診療におけるグラム染色の有用性の検討。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

小川吉彦、米本仁史、坂東裕基、矢嶋敬史郎、谷口智宏、笠井大介、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：当院における脳原発悪性リンパ腫の検討。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

上平朝子、矢嶋敬史郎、小川吉彦、谷口智宏、笠井大介、坂東裕基、米本仁史、渡邊大、西田恭治、

児玉良典、眞能正幸、白阪琢磨：当院における HIV 関連リンパ腫についての検討。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

矢倉裕輝、櫛田宏幸、吉野宗宏、栗原健、米本仁史、小川吉彦、坂東裕基、矢嶋敬史郎、笠井大介、谷口智宏、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：ST 合剤の先発、後発医薬品の品質評価および過敏症の発現頻度に関する比較検討。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

菊池嘉、遠藤知之、南留美、伊藤俊広、田邊嘉也、上田幹夫、横幕能行、渡邊大、藤井輝久、宮城島拓人、建山正男、中村仁美：多施設共同疫学調査における HAART の有効率 2009。第 24 回日本エイズ学会学術集会・総会、東京、2010 年 11 月

B-5

谷口智宏、小川吉彦、米本仁史、坂東裕基、矢嶋敬史郎、笠井大介、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：薬物中毒者における市中感染型 MRSA による三尖弁、僧帽弁への感染性心内膜炎の 1 例。第 192 回日本内科学会近畿地方会、大阪、2010 年 9 月

坂東裕基、渡邊大、上平朝子、白阪琢磨、吉岡千晶、葛下典由、中野知沙子、和田晃、児玉良典、眞能正幸：基礎疾患に肝硬変を有する重症新型インフルエンザ(H1N1)の 1 例。第 192 回日本内科学会近畿地方会、大阪、2010 年 9 月

谷口智宏、坂東裕基、小川吉彦、矢嶋敬史郎、渡邊大、上平朝子、白阪琢磨：悪寒戦慄から血液培養採取までの時間は培養陽性割合に関連する。第 53 回日本感染症学会中日本地方会学術集会、京都、2010 年 11 月

高島聡士、酒井佳奈紀、高松彩子、中野知沙子、倭成史、伊藤孝仁、若井聡智、渡邊大、多賀谷昌史、和田晃：集中的治療にても救命し得なかった劇症型抗リン脂質抗体症候群の 1 例。第 193 回日本内科学会近畿地方会、2010 年 12 月、神戸

B-8

上平朝子：HIV/AIDS 医療の現状と当院の役割。平成 22 年度新採用職員研修、大阪、2010 年 4 月

白阪琢磨：ご存知ですか？HIV/AIDS のことを……。大阪中之島ロータリークラブ HIV/AIDS に関する講演会、大阪、2010 年 4 月

白阪琢磨：HIV 感染症/AIDS について。大阪大学講義、大阪、2010 年 5 月

白阪琢磨：HIV 感染症治療の最近の話題。第 7 回抗福岡 HIV 感染症治療研究会、福岡、2010 年 5 月

白阪琢磨：抗 HIV 療法のガイドライン改訂について。第 20 回抗ウイルス療法研究会サテライトシンポジウム、熊本、2010 年 5 月

白阪琢磨：HIV 感染症治療の最前線。熊本大学セミナー、熊本、2010 年 5 月

白阪琢磨：AIDS 臨床と治療。第 22 年度課題別研修「HIV/AIDS の診断・予防・対策モデル」、大阪、2010 年 5 月

白阪琢磨：病院・ホスピス・施設の現状理解。第 21 期「ビハーラ活動者養成研修会」、京都、2010 年 6 月

白阪琢磨：HIV 感染症の診断と治療の最新情報。アボットフェア2010 大阪、大阪、2010 年 6 月

白阪琢磨：HIV/AIDS って何？。忍頂寺小学校研修、大阪、2010 年 7 月

白阪琢磨：HIV/AIDS についての基礎知識。HIV 検査業務に関わるスタッフ研修会、大阪、2010 年 7 月

白阪琢磨：エイズについての最新情報。訪問看護研修会、大阪、2010 年 7 月

白阪琢磨：HIV/AIDS の基礎知識。訪問看護研修会、岐阜、2010 年 7 月

白阪琢磨：HIV 感染者の人権問題について。2010 年度「人権相談員養成講座」、大阪、2010 年 8 月

白阪琢磨：大阪府における HIV 診療の実際。HIV 陽性者の歯科診療の課題と対策研修会、大阪、2010 年 9 月

白阪琢磨：針刺し・切創事故防止対策及び AIDS の現状。平成 22 年度日本赤十字社長崎原爆病院職員研修会、長崎、2010 年 9 月

白阪琢磨：HIV/AIDS の歴史と感染者の動向。平成 22 年度 HIV/AIDS 看護研修 入門コース、大阪、2010 年 9 月

西田恭治：薬害エイズについて。平成 22 年度 HIV/AIDS 看護研修 入門コース、大阪、2010 年 9 月

谷口智宏：HIV 感染症を含む性感染症の治療と予防。平成 22 年度 HIV/AIDS 看護研修 入門コース、大阪、2010 年 9 月

白阪琢磨：疾患の基礎的なこと、医療について。HIV/エイズについて知るための研修会、大阪、2010

年 9 月

白阪琢磨：HIV 感染症の現状。第 2 回宮城県 HIV/AIDS 勉強会、宮城、2010 年 9 月

白阪琢磨：HIV 感染症治療の最前線。患者相談員研修会、大阪、2010 年 10 月

渡邊大：HIV/AIDS の基礎知識①HIV 抗体検査について。平成 22 年度 HIV/AIDS 看護師研修 基礎①コース、大阪、2010 年 10 月

渡邊大：HIV/AIDS の基礎知識②HIV/AIDS の病態・診断・治療、日和見感染症の概要。平成 22 年度 HIV/AIDS 看護師研修 基礎①コース、大阪、2010 年 10 月

笠井大介：感染防止対策について（針刺し事故時の対応）。平成 22 年度 HIV/AIDS 看護師研修 基礎①コース、大阪、2010 年 10 月

白阪琢磨：HIV/AIDS の基礎知識。訪問看護研修会、東京、2010 年 10 月

白阪琢磨：HIV について。独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター感染対策研修会、大阪、2010 年 10 月

白阪琢磨：HIV の最新治療。HIV 予防教育リーダー養成研修、大阪、2010 年 10 月

白阪琢磨：HIV 感染症の疫学、抗 HIV 療法の考え方、薬剤耐性 HIV 変異。平成 22 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2010 年 10 月

渡邊大：HIV 感染症の診断と告知。平成 22 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2010 年 10 月

渡邊大：HIV 急性感染。平成 22 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2010 年 10 月

上平朝子：外来・病棟その他医療体制。平成 22 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2010 年 10 月

矢嶋敬史郎：日和見感染症診療カポジ肉腫。平成 22 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2010 年 10 月

矢嶋敬史郎：日和見感染症診療クリプトコッカス症、カンジタ症他。平成 22 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2010 年 10 月

笠井大介：日和見感染症診療ニューモシスチス肺炎。平成 22 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2010 年 10 月

坂東裕基：日和見感染症診療 HIV 脳症、PML。平成 22 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2010 年 10 月

谷口智宏：STD 診療。平成 22 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2010 年 10 月

谷口智宏：日和見感染症診療抗酸菌症。平成 22 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2010 年 10 月

笠井大介：針刺しによる HIV 暴露後対策。平成 22 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2010 年 10 月

小川吉彦：日和見悪性腫瘍。平成 22 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2010 年 10 月

上平朝子：免疫再構築症候群。平成 22 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2010 年 10 月

西田恭治：薬害 HIV・血友病診療。平成 22 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2010 年 10 月

米本仁史：日和見感染症診療 CMV 感染症。平成 22 年度 HIV 感染症医師実地研修会(1 ヶ月コース)、大阪、2010 年 10 月

白阪琢磨：HIV/AIDS。平成 22 年度日本医師会生涯教育講座、大阪、2010 年 11 月

白阪琢磨：HIV とエイズ。第 20 回日本新生児看護学会学術集会ランチョンセミナー、兵庫、2010 年 11 月

白阪琢磨：HIV 感染症診療のコツ。神戸市医師会学術講演会、兵庫、2010 年 11 月

白阪琢磨：HIV/エイズの病態と最新の医療について。感染症対策にかかると保健師研修（応用編）、大阪、2010 年 11 月

白阪琢磨：エイズ教育（性教育）の進め方。平成 22 年度新規採用養護教諭研修（第 10 回）、大阪、2010 年 11 月

白阪琢磨：大阪における HIV/エイズの現状について。平成 22 年度エイズ予防週間講演会、大阪、

2010年11月

白阪琢磨：HIV感染症/AIDSについて。大阪府立大学看護学部2年次生講義「生活支援論・地域Ⅱ」、大阪、2010年12月

白阪琢磨：HIV陽性者とエイズ患者への療養生活を考える～正しい知識を知らないための誤解と偏見～。平成22年度生活保護施設連盟人権問題研修会、大阪、2010年12月

白阪琢磨：HIV感染症・AIDSの治療、予防対策～大阪の現状～。記者懇談会、大阪、2010年12月

白阪琢磨：HIV/AIDSの基礎知識。訪問看護研修会、広島、2010年12月

矢嶋敬史郎：日和見感染症の病態と治療①ニューモシスチス肺炎、結核。平成22年度HIV/AIDS看護師研修 応用①コース、大阪、2010年12月

小川吉彦：日和見感染症の病態と治療②サイトメガロウイルス網膜炎、悪性リンパ腫。平成22年度HIV/AIDS看護師研修 応用①コース、大阪、2010年12月

坂東裕基：日和見感染症の病態と治療③HIV脳症、進行性多巣性白質脳症。平成22年度HIV/AIDS看護師研修 応用①コース、大阪、2010年12月

上平朝子：HBV/HCV重複感染の治療。平成22年度HIV/AIDS看護師研修 応用①コース、大阪、2010年12月

上平朝子：HIV陽性妊婦の治療とその支援。平成22年度HIV/AIDS看護師研修 応用①コース、大阪、2010年12月

白阪琢磨：HIV感染症・治療。大阪赤十字看護専門学校講義、大阪、2010年12月

上平朝子：女性とHIV感染症。関西HIV臨床カンファレンス看護部会、大阪、2010年3月

上平朝子：感染症とその対策について。エルケア株式会社講演、大阪、2010年4月

上平朝子：合併症妊娠と薬物療法 HIV。平成22年度妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会、東京、2010年5月

上平朝子：感染症コース「HIV感染症」。関西医科大学3回生講義、大阪、2010年6月

上平朝子：HIV感染者の長期療養支援―大阪医療センターの症例― 介護が必要になった症例を中心

に一。平成 22 年度第 1 回中国・四国ブロックエイズ治療拠点病院等連絡協議会、広島、2010 年 7 月

上平朝子：疾患の基礎的な事。HIV/エイズ等感染症について知るための講座、大阪、2010 年 9 月

上平朝子：HIV/AIDS の基礎知識。HIV/AIDS 研修会、奈良、2010 年 10 月

上平朝子：日和見感染症の診断・治療と近年話題の疾患。第 4 回中国四国地方エイズ拠点病院診療医師のための研修会、広島、2010 年 12 月

富成伸次郎：HIV 感染症～疫学と治療の最前線～。院内研修会（院内感染予防対策委員会主催）、京都、2010 年 10 月

渡邊大：HIV/AIDS 基礎知識。第 19 回看護師のためのエイズ診療従事者研修、広島、2010 年 9 月

渡邊大：急性 HIV 感染症。京滋 HIV 講演会、京都、2010 年 9 月

渡邊大：これだけは知っておきたい HIV の知識。院内感染防止対策講習会、大阪、2010 年 10 月

笠井大介：簡単に分かるエイズ診療。平成 22 年度四国地方エイズ拠点病院コミュニケーションスキル向上のための会議、香川、2010 年 12 月

西田恭治：血友病について。MR 社内勉強会、大阪、2010 年 1 月

西田恭治：血友病の歴史と疫学。アドベイド発売 3 周年記念、大阪、2010 年 4 月

西田恭治：日本の血友病の現状。大阪ヘモフェリア看護懇話会、大阪、2010 年 5 月

西田恭治：「大阪医療センターの血友病・整形外科コンバインドクリニックについて」「最近の血友病治療 - 製剤と止血管理」。近畿医療等相談会、大阪、2010 年 9 月

西田恭治：血友病を取り巻く最近の話題。関東医療等相談会、東京、2010 年 10 月

西田恭治：検査・診断、止血管理の実際、関節機能の評価。THE NEXT、大阪、2010 年 10 月

西田恭治：症例から学ぶ HIV 感染症診療のコツ。第 24 回日本エイズ学会学術協会・総会共催セミナー、東京、2010 年 11 月

西田恭治：最近の血友病をとりまく問題～保因者などの女性問題を含めて。京都ヘモフィリア友の会滋賀フェモフィリア友の会交流会、京都、2011 年 1 月

白阪琢磨：アサリの貝毒。毎日放送 VOICE、2010 年 6 月 8 日放送

矢嶋敬史郎：マラビロクにおける基礎・臨床の現状。Maraviroc Clinical Communication Program、オーストラリア、2011 年 1 月

白阪琢磨：知っておきたい HIV 感染症。HIV 陽性者支援事業 HIV/AIDS 学習会、大阪、2011 年 1 月

白阪琢磨：HIV/AIDS 歴史と感染者の動向。平成 22 年度第 2 回感染対策講習会、大阪、2011 年 1 月

白阪琢磨：HIV 陽性者とエイズ患者への療養支援を考える。地域包括支援センター管理者会、大阪、2011 年 1 月

白阪琢磨：HIV/AIDS の現状。院内感染予防対策・人権啓発職員研修、大阪、2011 年 1 月

白阪琢磨：HIV 感染症の長期合併症について。HIV 感染症治療に関する最近の話題、福井、2011 年 1 月

白阪琢磨：HIV/AIDS の現状。院内感染予防対策・人権啓発職員研修、大阪、2011 年 1 月

白阪琢磨：当院 HIV 診療の現状および最新の治療について。HIV 感染症研修会、大阪、2011 年 1 月

白阪琢磨：HIV 感染症の抗 HIV 療法。HIV 感染症研修会、大阪、2011 年 1 月

渡邊大：HIV 感染症の診断。HIV 感染症研修会、大阪、2011 年 1 月

矢嶋敬史郎：日和見感染症。HIV 感染症研修会、大阪、2011 年 1 月

笠井大介：針刺し暴露後対策。HIV 感染症研修会、大阪、2011 年 1 月

上平朝子：女性と HIV。HIV 感染症研修会、大阪、2011 年 1 月

西田恭治：HIV と血友病。HIV 感染症研修会、大阪、2011 年 1 月

矢嶋敬史郎：HIV 感染症の基礎知識。平成 22 年度 奈良医大 4 回生実習、奈良、2011 年 2 月

坂東裕基：日和見感染症 HIV 脳症。平成 22 年度 奈良医大 4 回生実習、奈良、2011 年 2 月

白阪琢磨：HIV 感染症の疫学。平成 22 年度 奈良医大 4 回生実習、奈良、2011 年 2 月

笠井大介：針刺し暴露後対策。平成 22 年度 奈良医大 4 回生実習、奈良、2011 年 2 月

西田恭治：血友病診療。平成 22 年度 奈良医大 4 回生実習、奈良、2011 年 2 月

渡邊大：HIV 感染症の診断。平成 22 年度 奈良医大 4 回生実習、奈良、2011 年 2 月

矢嶋敬史郎：日和見感染症 結核とカポジ肉腫。平成 22 年度 奈良医大 4 回生実習、奈良、2011 年 2 月

小川吉彦：日和見感染症 合併症としての悪性腫瘍。平成 22 年度 奈良医大 4 回生実習、奈良、2011 年 2 月

白阪琢磨：HIV 感染症治療の現状。京都医療センター附属京都看護助産学校、京都、2011 年 2 月

谷口智宏：？HIV とスミア。HIV 診療及び感染症診療についての講演会、沖縄、2011 年 2 月

谷口智宏：「論文を書こう」臨床医における情報管理。HIV 診療及び感染症診療についての講演会、沖縄、2011 年 2 月

上平朝子：HIV 陽性者への療養支援を考える。交野介護支援専門員協会、大阪、2011 年 2 月

白阪琢磨：HIV 感染症/エイズについて。大阪府看護協会府北支部研修会、大阪、2011 年 2 月

矢嶋敬史郎：新しい薬剤（ラルテグラビル・マラビロク）。平成 22 年度 滋賀県 HIV 関連病院研修会、滋賀、2011 年 2 月

笠井大介：HIV/AIDS を疑うとき、またその対処法は—日和見感染症と急性感染—免疫再構築症候群。平成 22 年度 滋賀県 HIV 関連病院研修会、滋賀、2011 年 2 月

谷口智宏：疾患に立ち向かう臨床検査シリーズ 4—呼吸器感染症—「臨床医の立場から」。国臨協近畿支部研修会、大阪、2011 年 2 月

白阪琢磨：HIV 陽性者の療養支援について。平野区社会福祉施設連絡会 定例会、大阪、2011 年 3 月

白阪琢磨：増え続ける本邦の HIV 感染者—近畿地方における最近の動向—。HIV 感染症シンポジウム 2011、滋賀、2011 年 3 月

上平朝子：HIV 感染症および合併症における診断の進歩。HIV 感染症シンポジウム 2011、滋賀、2011 年 3 月

上平朝子：HIV 患者における腎臓機能障害の問題。第 76 回大阪透析研究会、大阪、2011 年 3 月

西田恭治：成人における定期補充療法。第 7 回東海北陸ヘモフィリアセミナー、愛知、2011 年 3 月